

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
現代文B	3	普通 コース	3	国語科

使用教科書等	出版社
改訂版 標準現代文B	第一学習社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代以降の様々な作品に接し、読解力、思考力を養う。</li> <li>・漢字、ことばの学習を通して、語句の定着を図る</li> </ul>
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の理解</li> <li>・漢字、語句の習得</li> <li>・文学史の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字書取の小テスト</li> <li>・ノート、課題の提出</li> <li>・授業に取り組む姿勢</li> </ul>
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四	随想「ワスレナグサ」 【中間考査】
	五	小説「ひよこの眼」 【期末考査】
第2学期	七	評論「記憶のゆがみ」 小説「卒業」 【中間考査】
	九	評論「経験の教えについて」 【期末考査】
第3学期	十二	小説「山月記」 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
古典A	3	普通 コース	2	国語科

使用教科書等	出版社
高等学校 標準古典A 物語選	第一学習社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	歴史的仮名遣いに気をつけ、古文・漢文が正しく読めるようになる。 古典文法の基本を理解し、内容を理解できる。 昔人の生活様式を推し量ることができる。
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	・基礎学力や内容理解の到達度をみる。	・提出物 ・小テスト ・授業態度
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四・五	〈古文〉『伊勢物語』「初冠」 【中間考査】
	五・六	〈漢文〉『史記』「鴻門の会」 【期末考査】
第2学期	七・八・九	〈古文〉『大鏡』「弓争ひ」 【中間考査】
	十・十一	〈古文〉『源氏物語』「光る君誕生」 【期末考査】
第3学期	十二・一	〈漢文〉『莊子』「胡蝶の夢」 〈漢文〉『韓非子』「刻削之道」 【期末考査】
	二・三	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
現代文B	3	進文 コース	4	国語科

使用教科書等	出版社
精選 現代文B	東京書籍

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	1. 評論を読解し、論理の展開や要旨を的確にとらえる力を身につける。 2. 小説を読解し、登場人物の生き方や心情の推移を的確に把握し、感性を養う。 3. 大学入学共通テストに対応できる語彙力と読解力を身につける。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字・語句の習得</li> <li>内容理解</li> <li>適切な解答文の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出物(宿題、自習課題)</li> <li>ノートを取り方</li> <li>小テスト</li> <li>授業態度</li> </ul>
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四・五	〈評論〉 文学の未来 〈小説〉 檸檬 【中間考査】
	五・六	〈評論〉 鏡の中の現代社会 【期末考査】
第2学期	七・八・九	〈小説〉 トランジット 〈評論〉 社会の壊れる時—知性的であるとはどういうことか 【中間考査】
	十・十一	〈評論〉 平気—正岡子規 〈評論〉 抗争する人間 共通テスト対応問題演習 【期末考査】
第3学期	十二・一	共通テスト対応問題演習 【期末考査】
	二・三	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
古典B	3	進学文系 コース	4	国語科

使用教科書等	出版社
新編 古典B 改訂版	大修館書店

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の基礎知識を習得し、古典文学の読解に利用できるようにする。</li> <li>・古典を読み味わい、日本および中国の古典文化に親しむ。</li> <li>・現代にも通じる古典の考え方や心に触れて自己の考えを深め、表現できるようにする。</li> </ul>
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の基礎知識を習得している。</li> <li>・基礎知識をもとに、古典を読解することができる。</li> <li>・古典のものの考え方と自己の考え方をと照らし合わせ、考察したことを表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典を学ぶ意欲が日々の姿勢として表現できている。</li> <li>・提出物をきちんと出している。</li> </ul>
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四・五	〈古文〉『源氏物語』(物語) 【中間考査】
	六・七	〈古文〉「漁父の利」(参考漢文「漁父之利」) 〈漢文〉「先從隗始」 【期末考査】
第2学期	八・九	〈漢文〉「桃花源記」 〈古文〉『紫式部日記』(日記) 【中間考査】
	十・十一	〈古文〉『大鏡』(物語) 〈漢文〉『三国志』 【期末考査】
第3学期	十二・一	〈古文〉『大和物語』 〈古文〉「日本の神話」 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
現代文B	3	進理 コース	3	国語科

使用教科書等	出版社
精選 現代文B	東京書籍

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	1. 評論を読解し、論理の展開や要旨を的確にとらえる力を身につける。 2. 小説を読解し、登場人物の生き方や心情の推移を的確に把握し、感性を養う。 3. 大学入学共通テストに対応できる語彙力と読解力を身につける。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字・語句の習得</li> <li>内容理解</li> <li>適切な解答文の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出物(宿題、自習課題)</li> <li>ノートを取り方</li> <li>小テスト</li> <li>授業態度</li> </ul>
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四・五	〈評論〉 文学の未来 〈小説〉 檸檬 【中間考査】
	五・六	〈評論〉 鏡の中の現代社会 【期末考査】
第2学期	七・八・九	〈小説〉 トランジット 〈評論〉 社会の壊れる時—知性的であるとはどういうことか 【中間考査】
	十・十一	〈評論〉 平気—正岡子規 共通テスト対応問題演習 【期末考査】
第3学期	十二・一	共通テスト対応問題演習 【期末考査】
	二・三	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
古典B	3	進学理系 コース	3	国語科

使用教科書等	出版社
新編 古典B 改訂版	大修館書店

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典を読み味わい、日本および中国の古典文化に親しむ。</li> <li>・現代にも通じる古典の考え方や心に触れて自己の考えを深め、表現できるようにする。</li> </ul>
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の基礎知識を習得している。</li> <li>・古典のものの考え方と自己の考え方をと照らし合わせ、考察したことを表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典を学ぶ意欲が日々の姿勢として表現できている。</li> <li>・提出物をきちんと出している。</li> </ul>
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四・五	〈古文〉『今昔物語』『源氏物語』(物語) <b>【中間考査】</b>
	六・七	〈古文〉「漁父の利」(参考漢文「漁父之利」) 〈漢文〉「先從隗始」 <b>【期末考査】</b>
第2学期	八・九	〈漢文〉「桃花源記」 〈古文〉『紫式部日記』(日記) <b>【中間考査】</b>
	十・十一	〈古文〉『大鏡』(物語) 〈漢文〉『三国志』 <b>【期末考査】</b>
第3学期	十二・一	〈古文〉「日本の神話」 <b>【期末考査】</b>

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
現代文B	3	特文 コース	4	国語科

使用教科書等	出版社
精選 現代文B	東京書籍

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	1. 評論を読解し、論理の展開や要旨を的確にとらえる力を身につける。 2. 小説を読解し、登場人物の生き方や心情の推移を的確に把握し、感性を養う。 3. 大学入学共通テストに対応できる語彙力と読解力を身につける。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字・語句の習得</li> <li>内容理解</li> <li>適切な解答文の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出物(宿題、自習課題)</li> <li>ノートを取り方</li> <li>小テスト</li> <li>授業態度</li> </ul>
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四・五	〈評論〉 文学の未来 〈小説〉 檸檬 【中間考査】
	五・六	〈評論〉 鏡の中の現代社会 【期末考査】
第2学期	七・八・九	〈小説〉 トランジット 〈評論〉 社会の壊れる時—知性的であるとはどういうことか 【中間考査】
	十・十一	〈評論〉 平気—正岡子規 〈評論〉 抗争する人間 共通テスト対応問題演習 【期末考査】
第3学期	十二・一	共通テスト対応問題演習 【期末考査】
	二・三	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
古典B	3	特進文系 コース	4	国語科

使用教科書等	出版社
精選 古典B 改訂版	大修館書店

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	1. これまでの学習成果を踏まえ、より一層の言語能力の充実を図る。 2. 古典の読解力を身につけると共に、日本の伝統・文化への知識を深める。 3. 受験に対応できる力を身につける。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本重要古語、古典文法の習得</li> <li>内容理解</li> <li>適切な解答文の作成</li> <li>文学史の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出物(宿題、自習課題)</li> <li>ノートを取り方</li> <li>読みテスト</li> <li>授業態度</li> </ul>
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四・五	〈古文〉『枕草子』(随筆) 【中間考査】
	五・六	〈古文〉『源氏物語』(物語) 〈漢文〉『韓非子』「不死之薬」 【期末考査】
第2学期	七・八・九	〈古文〉『大鏡』(物語) 〈漢文〉「漢詩」 【中間考査】
	十・十一	〈古文〉『紫式部日記』(日記) 共通テスト対応問題演習 【期末考査】
第3学期	十二・一	〈漢文〉「思想一諸子百家」 共通テスト対応問題演習 【期末考査】
	二・三	



科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
現代文B	3	特理 コース	3	国語科

使用教科書等	出版社
精選 現代文B	東京書籍

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	1. 評論を読解し、論理の展開や要旨を的確にとらえる力を身につける。 2. 小説を読解し、登場人物の生き方や心情の推移を的確に把握し、感性を養う。 3. 大学入学共通テストに対応できる語彙力と読解力を身につける。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字・語句の習得</li> <li>内容理解</li> <li>適切な解答文の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出物(宿題、自習課題)</li> <li>ノートを取り方</li> <li>小テスト</li> <li>授業態度</li> </ul>
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四・五	〈評論〉 文学の未来 〈小説〉 檸檬 【中間考査】
	五・六	〈評論〉 鏡の中の現代社会 【期末考査】
第2学期	七・八・九	〈小説〉 トランジット 〈評論〉 社会の壊れる時—知性的であるとはどういうことか 【中間考査】
	十・十一	〈評論〉 平気—正岡子規 共通テスト対応問題演習 【期末考査】
第3学期	十二・一	共通テスト対応問題演習 【期末考査】
	二・三	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
古典B	3	特進理系 コース	3	国語科

使用教科書等	出版社
精選 古典B 改訂版	大修館書店

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	1. これまでの学習成果を踏まえ、より一層の言語能力の充実を図る。 2. 古典の読解力を身につけると共に、日本の伝統・文化への知識を深める。 3. 受験に対応できる力を身につける。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本重要古語、古典文法の習得</li> <li>内容理解</li> <li>適切な解答文の作成</li> <li>文学史の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出物(宿題、自習課題)</li> <li>ノートを取り方</li> <li>読みテスト</li> <li>授業態度</li> </ul>
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四・五	〈古文〉『枕草子』(随筆) 【中間考査】
	五・六	〈古文〉『源氏物語』(物語) 〈漢文〉『韓非子』(逸話と寓話) 【期末考査】
第2学期	七・八・九	〈古文〉『大鏡』(物語) 〈漢文〉「漢詩」 【中間考査】
	十・十一	〈古文〉『雨月物語』(物語) 共通テスト対応問題演習 【期末考査】
第3学期	十二・一・二・三	共通テスト対応問題演習 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
日本史 B	3	普通 コース	4	地理歴史

使用教科書等	出版社
高校 日本史B	山川出版社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	(1) 明治維新までの通史学習を通して、日本歴史の基礎知識を学ぶ。 (2) 対外交渉史、文化史を通して、日本の文化財・文化遺産についての学習を深める。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に定期考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の出席状況や学習態度、ノート・課題等の提出物のでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第1章 古代社会の形成
	5	1. 日本文化のはじまり 2. 農耕の開始 3. ヤマト政権と古墳
		【中間考査】
	5	第2章 律令国家の形成
	6	1. 律令国家の成立      2. 律令国家の繁栄      3. 律令国家の変質 第3章 貴族政治の展開 1. 摂関政治      2. 国風文化      3. 荘園の発達と武士の台頭
		【期末考査】
第2学期	7	第4章 武家社会の形成
	8	1. 院政と平氏      2. 鎌倉幕府の成立と発展      3. 鎌倉文化      4. 蒙古襲来と幕府の衰退
	9	第5章 武家社会の成長
		1. 室町幕府の成立      2. 下剋上の社会      3. 室町文化      4. 戦国の動乱
		【中間考査】
	10	第6章 幕藩体制の成立
	11	1. ヨーロッパ人の来航      2. 織豊政権      3. 江戸幕府の成立
	11	第7章 幕藩体制の展開      1. 幕政の安定 第8章 幕藩体制の動揺 1. 幕政の改革      2. 幕府の衰退
	【期末考査】	
第3学期	1	第9章 近代国家の成立
	2	1. 開国と幕府の滅亡      2. 明治維新
	1	【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
地理B	3	普通 コース	4	地歴科

使用教科書等	出版社
地理B	東京書籍

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	世界各地の自然環境や人々の暮らしを理解し、共存していくためにどのように関わり、生き方を身に付けるか考える。また、世界の諸地域について、個別に学習する。
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期とも中間・期末考査を行い、それぞれ40%の評価割合とする。	日ごらの授業への取り組み方や学習態度、課題提出などに基づいた評価をする。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 ・ 5	第2編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 1 世界の地形  【中間考査】  2 世界の気候
	5 ・ 6	   【期末考査】
第2学期	7 ・ 9	第3編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域 1 東アジア 4 西アジアと中央アジア 【中間考査】
	10 ・ 11	6 ヨーロッパ 7 アングロアメリカ  【期末考査】
第3学期	12 ・ 1	第2編 現代世界の系統地理的考察 第4章 生活・文化・民族・宗教 3 民族問題 4 現代国家と領土問題  【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
世界史B	3	進文 コース	4	地歴公民

使用教科書等	出版社
詳説 世界史B	山川出版社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	2学年で学んだことを深化発展させながら近世～現代へと至る歴史的事象を理解させる。また現在起きる様々な事象に対して、学んだことをもとに比較検討する姿勢を養う。受験教科として得点取得のための技術を習得させる。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期ごとに定期テストを実施し、得点で評価する。	普段の授業態度および提出物で評価する。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四 五	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 【中間考査】
	五 六	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開 ～ 第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 【期末考査】
第2学期	七 十	第11章 欧米における近代国民国家の発展 ～ 第13章 帝国主義とアジアの民族運動 【中間考査】
	十 十一	第14章 二つの世界大戦 ～ 第15章 冷戦と第三世界の独立 【期末考査】
第3学期	十二 三	第16章 現代の世界 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
日本史B	3	進学文系 コース	4	地理歴史

使用教科書等	出版社
改訂版 詳説 日本史 B	山川出版社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	日本の歴史の展開を総合的に考察させ、日本の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に定期考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の出席状況や学習態度、ノート・課題等の提出物のでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第3部 近世 第8章 幕藩体制の動揺 第4部 近代・現代 第9章 近代国家の成立 【中間考査】
	5	第10章 二つの世界大戦とアジア
	7	【期末考査】
第2学期	8	【中間考査】
	5	第11章 占領下の日本 第12章 高度成長の時代
	12	【期末考査】
第3学期	1	第13章 激動する世界と日本 【期末考査】
	5	
	3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
日本史 A	3	進理 コース	2	地歴

使用教科書等	出版社
日本史 A 現代からの歴史	山川出版社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代史を理解し、今日の日本の基盤を考察する。</li> <li>・裏話やエピソードを交えて興味や関心を持たせる。</li> <li>・時代背景を考えさせる。</li> </ul>
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物や出席状況、学習状況</li> <li>・ノートの取り方、創意工夫</li> </ul>
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1章 近代日本の形成</li> <li>1. 国際情勢の変化と明治維新</li> </ul>
	5	
	5	2. 明治新政府の諸改革
第2学期	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>3. 立憲国家の成立</li> <li>第2章 東アジア世界の変動と日本</li> <li>1. 日清戦争と近代社会の確立</li> </ul>
	6	
	6	2. 日露戦争と帝国日本の形成
第3学期	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3章 二つの世界大戦と日本</li> <li>1. 第一次世界大戦と帝国日本</li> <li>2. 政党政治の時代</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>2. 政党政治の時代</li> </ul>
	7	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
世界史B	3	特文 コース	4	地歴科

使用教科書等	出版社
改訂版 詳説 世界史	山川出版社

### 1. 学習の重点目標

近代社会の成立とともに欧米諸国による世界支配の構図が始まり、その後アジア・アフリカ諸国の勃興により現代社会が成立していく過程を学習し、現在の国際社会の特質を世界史全体の視野から理解する態度を養う。
--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の出席状況や学習態度、復習テストや課題等の提出物のでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	第Ⅲ部 第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 中間考査
	5 6 7	第11章 欧米における近代国民国家の発展 第12章 アジア諸地域の動揺 期末考査
第2学期	7 8 9 10	第Ⅳ部 第13章 帝国主義とアジアの民族運動 第14章 二つの世界大戦 中間考査
	10 11 12	第15章 冷戦と第三世界の独立 第16章 現在の世界 期末考査
第3学期	1 2 3	古代からの総復習 期末考査



科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
日本史B	3	特進文系 コース	4	地理歴史

使用教科書等	出版社
改訂版 詳説 日本史 B	山川出版社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	日本の歴史の展開を総合的に考察させ、日本の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に定期考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の出席状況や学習態度、ノート・課題等の提出物のでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第3部 近世 第7章 幕藩体制の確立
	5	第8章 幕藩体制の動揺
	7	第4部 近代・現代 第9章 近代国家の成立 【期末考査】
第2学期	8	第10章 近代日本とアジア
	5	【中間考査】 第11章 戦後日本の出発
	12	【期末考査】
第3学期	1	第12章 55年体制と経済成長
	5	【期末考査】
	3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
日本史 A	3	進理 コース	2	地歴

使用教科書等	出版社
日本史 A 現代からの歴史	山川出版社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代史を理解し、今日の日本の基盤を考察する。</li> <li>・裏話やエピソードを交えて興味や関心を持たせる。</li> <li>・時代背景を考えさせる。</li> </ul>
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物や出席状況、学習状況</li> <li>・ノートの取り方、創意工夫</li> </ul>
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1章 近代日本の形成</li> <li>1. 国際情勢の変化と明治維新</li> </ul>
	5	
	5	2. 明治新政府の諸改革
第2学期	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>3. 立憲国家の成立</li> <li>第2章 東アジア世界の変動と日本</li> <li>1. 日清戦争と近代社会の確立</li> </ul>
	6	
	6	2. 日露戦争と帝国日本の形成
第3学期	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3章二つの世界大戦と日本</li> <li>1. 第一次世界大戦と帝国日本</li> <li>2. 政党政治の時代</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>2. 政党政治の時代</li> </ul>
	7	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
政治・経済	3	普通 コース	2	公民科

使用教科書等	出版社
高等学校 改訂版 政治・経済	第一学習社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	民主主義の本質に関する理解を深めさせるとともに、現代における政治、経済、国際関係などについての客観的な理解をめざす。また、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を持つ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事項や、その本質、特質及び動向を捉える基本的な概念を身につけているかどうかを定期テストで判断する。	普段の授業に取り組む姿勢や提出物(ノート・課題プリント等)の内容、出欠席の状況などを総合的に判断し評価する。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法 ⑦国会の組織と立法 ⑧内閣の機構と行政 ⑨裁判所の機能と司法制度
	5	【中間考査】 ⑩地方自治制度と住民の権利 ⑪政党政治と選挙制度 ⑫民主政治における世論の役割
	6	第2章 現代の国際政治と日本 ①国際社会と国際法 ②国際連合の役割と組織 ③国際政治の動向 ④国際紛争と難民問題 【期末考査】
	7	⑤軍備管理と軍縮 ⑥日本の外交と国際平和への役割
	8	第2編 現代の経済 第1章 現代社会のしくみと特質 ①経済社会の発展 ②経済主体と経済活動 ③市場経済の機能と限界 ④経済成長と景気変動 ⑤物価の働き ⑥金融のしくみとはたらき
	9	【中間考査】 ⑦財政のしくみとはたらき ⑧日本経済のあゆみ ⑨中小企業の地位と役割 ⑩農業の現状と課題 ⑪消費者問題 ⑫高度情報社会の進展と課題 ⑬労働問題 【期末考査】
第2学期	1	⑭社会保障制度の充実 ⑮環境保全と資源・エネルギー問題
	2	第2章 国民経済と国際経済 ①国際経済のしくみ ②国際協調と国際経済機関の役割 ③地域的経済統合 ④グローバル化する経済 ⑤南北問題と日本の役割
	1	【期末考査】
	2	
	3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
公民演習	3	進学文系 コース	3	公民科

使用教科書等	出版社
『高等学校 改訂版 政治・経済』	第一学習社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	現代社会における政治、経済、国際関係などについて、客観的に理解を深めるとともに、問題演習を通して、大学受験に対応できる力を身につける。
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	政治・経済・国際社会に関する基本的な概念や理論について理解し、その知識が定着しているかどうかを定期考査の得点により評価する。	出席状況、授業態度、提出物などで判断する。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第1編 現代の政治 第2章 現代の国際政治と日本 ①国際社会と国際法 ②国際連合の組織と役割 ③国際政治の動向
	5	【中間考査】 ④国際紛争と難民問題 ⑤軍備管理と軍縮 ⑥日本の外交等国際平和への役割
第2学期	5	第2編 現代の経済 第2章 国民経済と国際経済
	6	①国際経済のしくみ ②国際協調と国際経済機関の役割 【期末考査】
第2学期	7	③地域的経済統合 ④グローバル化する経済 ⑤南北問題と日本の役割
	9	第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題 【中間考査】
第2学期	10	第2章 国際社会の政治や経済の諸課題
	11	問題演習に取り組み、受験に対応できる力を養成する。 【期末考査】
第3学期	12	問題演習に取り組み、受験に対応できる力を養成する。 【期末考査】
	13	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
公民演習	3	進学理系 コース	2	公民科

使用教科書等	出版社
『高等学校 改訂版 政治・経済』	第一学習社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	現代社会における政治、経済、国際関係などについて、客観的に理解を深めるとともに、問題演習を通して、大学受験に対応できる力を身につける。
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	政治・経済・国際社会に関する基本的な概念や理論について理解し、その知識が定着しているかどうかを定期考査の得点により評価する。	出席状況、授業態度、提出物などで判断する。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第1編 現代の政治 第2章 現代の国際政治と日本 ①国際社会と国際法 ②国際連合の組織と役割 ③国際政治の動向
	5	【中間考査】 ④国際紛争と難民問題 ⑤軍備管理と軍縮 ⑥日本の外交等国際平和への役割
第2学期	5	第2編 現代の経済 第2章 国民経済と国際経済
	6	①国際経済のしくみ ②国際協調と国際経済機関の役割 【期末考査】
第2学期	7	③地域的経済統合 ④グローバル化する経済 ⑤南北問題と日本の役割
	9	第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題 【中間考査】
第2学期	10	第2章 国際社会の政治や経済の諸課題
	11	問題演習に取り組み、受験に対応できる力を養成する。 【期末考査】
第3学期	12	問題演習に取り組み、受験に対応できる力を養成する。 【期末考査】
	13	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
公民演習(政治経済選択生)	3	特文・特理 コース	3	地歴・公民科

使用教科書等	出版社
高等学校 改訂版 政治・経済	第一学習社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	現代社会における政治、経済、国際関係などについて、客観的に理解を深めるとともに、問題演習を通して、大学受験に対応できる力を身につける。
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事項や、その本質、特質及び動向を捉える基本的な概念を身につけているかどうかを年間5回の定期テストで判断する。	普段の授業に取り組む姿勢や提出物(ノート・課題プリント等)の内容、出欠席の状況などを総合的に判断し評価する。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容	
第1学期	4	第2編 現代の経済 第2章 国民経済と国際経済 ①国際経済のしくみ ②国際協調と国際経済機関の役割 【中間考査】 ③地域的経済統合 ④グローバル化する経済 ⑤南北問題と日本の役割 【期末考査】	
	5		
	5		
	6		
	7		問題演習に取り組み、受験に対応できる力を養成する。
	9		【中間考査】
第2学期	10	問題演習に取り組み、受験に対応できる力を養成する。	
	11	【期末考査】	
	11		
第3学期	12	問題演習に取り組み、受験に対応できる力を養成する。	
	1	【期末考査】	
	2・3		

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
公民演習(倫理)	3	特進文理 コース	2	公民科

使用教科書等	出版社
『改訂版 倫理』	数研出版

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	人間としての在り方生き方について思索を深めるとともに、問題演習を通して、大学受験に対応できる力を身につける。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	学習した概念や理論を理解し、その知識が定着しているかどうかを定期考査の得点により評価する。	出席状況、授業態度、提出物などで判断する。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第1編 現代に生きる自己の課題
	5	第2編 人間としての自覚 第1章 西洋思想の源流 第1節 古代ギリシアの思想
		【中間考査】 第2節 キリスト教 第3節 イスラーム…『クルアーン』の教え
	5	第2章 東洋思想の源流 第1節 古代インドの思想と仏教 第2節 中国の思想
		6 【期末考査】
	第2学期	7
9		第2章 現代の思想 第1節 現代思想の流れ 第2節 現代社会と生き方 【中間考査】
		第4編 国際社会に生きる日本人としての自覚 第1章 日本の伝統思想と東洋思想の受容 第1節 日本の風土と古代日本人の考え方 第2節 仏教の需要と展開 第3節 儒学の受容と国学の発達
10		【期末考査】
11		第2章 西洋思想の受容と近現代の日本の思想 第1節 近代日本の思想 第2節 国際社会を生きる日本人
		1
第3学期	1	
	2	【期末考査】
	1	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学Ⅱ	3	普通コース	3	数学科

使用教科書等	出版社
改訂新数学Ⅱ／ニューファースト改訂新数学Ⅱ	東京書籍

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	数学的なものの見方・考え方を伸ばし、論理的な思考力を身につける。
---------	----------------------------------

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期に中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の授業態度や課題の出来具合、ノート提出により評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	第3章 三角関数 1節 三角関数 【中間考査】
	5 7	2節 加法定理 第4章 指数関数と対数 1節 指数関数 【期末考査】
第2学期	7 10	2節 対数関数 第5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 【中間考査】
	10 11	2節 導関数の応用 3節 1. 不定積分 【期末考査】
第3学期	1 3	3節 2. 定積分 3. 面積 【期末考査】



科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学演習	3	普通 コース	2	数学科

使用教科書等	出版社
独自教材(プリント)	

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学の基本的な概念を理解し、基本的な計算能力をしっかりと身に付ける。</li> <li>・自学自習の習慣をつける。</li> </ul>
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期ごとに、中間考査・期末考査を実施し、その得点により評価を行う。	日常の学習態度、プリントの提出状況などで総合的に評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容	
第1学期	4	基本的な計算練習 一般常識の数学	
	5	【中間考査】	
	5	基本的な計算練習 一般常識の数学	
	6	【期末考査】	
	第2学期	7	基本的な計算練習 一般常識の数学
		9	【中間考査】
10		基本的な計算練習 一般常識の数学	
第3学期	11	【期末考査】	
	12	基本的な計算練習 一般常識の数学	
	3	【期末考査】	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学Ⅱ	3	進文 コース	3	数学科

使用教科書等	出版社
改訂版 新編数学Ⅱ 改訂版 3TRIAL数学Ⅱ+B, プリント	数研出版

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	各単元の基本的事項の内容の理解を深めると同時に、数学Ⅰ・Aとの関連性を確認しながら、高校数学の基本的な力を定着させる。
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	授業での基本的な学習内容に加えて、応用レベルへの問題に対する取り組みと理解度を確認する。また、一定時間内に解法する中で、正確に解答を導き出す能力が身についているかを1、2学期に2回、3学期に1回のペーパーテストで評価する。	週末・長期休業中において、課題を課し、その提出状況・学習内容の理解度をチェックして評価する。授業中の演習問題に対する取り組み方も評価する。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	<数学Ⅱ> 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数(2 関数の微分 3 接線の方程式) 第2節 関数の値の変化(4 関数の増減と極大・極小) 【中間考査】  5 関数の増減・グラフの応用 第3節 積分法(6 不定積分)  【期末考査】
	5	
	5	
	6	
	7	
第2学期	7	7 定積分 8 定積分と面積  【中間考査】  数学Ⅱ・B 演習プリント  【期末考査】
	8	
	9	
	10	
	11	
第3学期	1	数学Ⅱ・B 総復習プリント  【期末考査】
	2	
	3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学演習	3	進文 コース	2	数学科

使用教科書等	出版社
改訂版 リンク数学演習 I・A受験編	数研出版

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	基本的な概念・公式等の再確認をし、問題演習に取り組み応用力を高めることで大学入学共通テストに対応できるようにする。
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期に中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。	課題・プリント等の提出物、日常の学習態度などを総合的に点数化し、合計して平常点とする。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	数学 I・Aの総合演習 【中間考査】
	5 6 7	数学 I・Aの総合演習 【期末考査】
第2学期	7 8 9 10	数学 I・Aの総合演習 【中間考査】
	10 11 12	数学 I・Aの総合演習 【期末考査】
第3学期	1 2 3	大学入学共通テスト対策 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学Ⅲ	3	進学理系 コース	6	数学科

使用教科書等	出版社
改訂版 新編 数学Ⅲ / 改訂版 3TRIAL 数学Ⅲ	数研出版

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な概念や公式を十分に理解する。</li> <li>・問題集で計算力や応用力を高め、模試や入試に対応できる思考力を養う。</li> <li>・大学入試に対応できる学力を養う。</li> </ul>
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	授業で学習する基本的な内容の理解度を確 認する。また、問題集や参考書にある応用的な 内容への取り組みとその理解度を確認する。 各学期ごとに中間考査、期末考査を実施し、 その得点で評価を行う。	授業に取り組む姿勢や、家庭学習への取り組 む姿勢を確認する。 授業態度、プリント・ノート等の提出物及び単元 別小テストの結果を点数化し、総合的に評価を 行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第1章～第2章 2年次で学習済
	5	第3章 関数
		第4章 極限
	5	第1節 数列の極限
		【中間考査】
	6	第4章 極限
第2節 関数の極限		
第2学期	7	第5章 微分法
		第1節 導関数 第2節 いろいろな関数の導関数
	10	【期末考査】
		第6章 微分法の応用
	11	第1節 導関数の応用 第2節 いろいろな応用
		第7章 積分法とその応用
11	第1節 不定積分 第2節 定積分	
	【中間考査】	
第3学期	12	第7章 積分法とその応用
		第3節 積分法の応用
	1	入試対策 問題演習
2	2	【期末考査】
	3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学演習	3	進理 コース	2	数学科

使用教科書等	出版社
例題から学ぶ 数学Ⅰ+A(例題編) 例題から学ぶ 数学Ⅱ+B(例題編)	実教出版

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの基本的事項を重点的に復習し、応用力を身に付ける。
---------	------------------------------------

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	授業での基本的な学習内容に加えて、応用レベルへの問題に対する取り組みと理解度を確認する。また、一定時間内に解法する中で、正確に解答を導き出す能力が身についているかを1、2学期に2回、3学期に1回のペーパーテストで評価する。	週末・長期休業中において、課題を課し、その提出状況・学習内容の理解度をチェックして評価する。授業中の演習問題に対する取り組み方も評価する。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	数Ⅰ・Aの復習(基本) 【中間考査】
	5 7	数Ⅱ・Bの復習(基本) 【期末考査】
第2学期	7 10	数Ⅰ・Aの復習(応用) 【中間考査】
	10 11	数Ⅱ・Bの復習(応用) 【期末考査】
第3学期	1 2 3	数学Ⅰ・A, Ⅱ・B 総復習 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学Ⅱ	3	特進文系 コース	4	数学

使用教科書等	出版社
数学B改訂版/アドバンスプラス改訂版数学Ⅱ+B/FocusGold数学Ⅱ+B	啓林館

### 1. 学習の重点目標

- ・基本的な概念、公式を十分に理解する。
- ・問題集で計算力や応用力を高め、模試や入試に対応できる学力を養う。
- ・主体性を持って他者と協働して学習する態度を養う。

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	授業で学習する基本的な内容の理解度を確認する。また、問題集や参考書にある応用的な内容への取り組みとその理解度を確認する。 各学期ごとに中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。	日頃の授業中の学習に向かう態度や姿勢、課題の出来具合などにより評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	第5章 微分と積分 第3節 積分 【中間末考査】
	5 7	大学入学共通テスト形式の問題演習 【期末考査】
第2学期	7 10	大学入学共通テスト形式の問題演習 【中間考査】
	11 11	大学入学共通テスト形式の問題演習 【期末考査】
第3学期	1 3	大学入学共通テスト形式の問題演習 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学演習	3	特文 コース	2	数学科

使用教科書等	出版社
共通テスト対策 実力養成 重要問題演習	ラーズ

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	数学 I・A の範囲を総復習し、大学入学共通テストに対応できる学力を習得する。
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期ごとに、中間考査・期末考査を実施し、その得点により評価を行う。	日常の授業態度や課題の出来具合、ノート提出により評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第 1 学期	4 5	Warming up 数と式、2次関数 【中間考査】
	5 6	Warming up 2次関数、図形と計量、データの分析 【期末考査】
第 2 学期	7 10	Warming up 場合の数と確率、整数の性質、図形の性質 【中間考査】
	10 11	大学入学共通テスト形式の問題演習 【期末考査】
第 3 学期	1 2 1	大学入学共通テスト形式の問題演習 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学Ⅲ	3	特進理系 コース	6	数学

使用教科書等	出版社
数学Ⅲ改訂版/アドバンスプラス改訂版数学Ⅲ/FocusGold数学Ⅲ	啓林館

### 1. 学習の重点目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な概念や公式を十分に理解する。</li> <li>・問題集で計算力や応用力を高め、模擬試験や大学入試に対応できる思考力を養う。</li> <li>・他者と対話しながら、協働して学習する姿勢を身に付ける。</li> </ul>
---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	授業で学習する基本的な内容の理解度を確認する。また、問題集や参考書にある応用的な内容への取り組みとその理解度を確認する。各学期ごとに中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。	日頃の授業中の学習に向かう態度や姿勢、課題の出来具合などにより評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5 5	第3章 数列の極限 第1節 無限数列 第2節 無限級数 【中間考査】
	5 5 7	第4章 関数とその極限 第1節 分数関数と無理関数 第2節 関数の極限と連続性 【期末考査】
第2学期	7 5 1 0	第5章 微分法 第1節 微分と導関数 第2節 いろいろな関数の導関数 第3節 導関数と関数のグラフ 第4節 微分法の応用 【中間考査】
	1 0 5 1 1	第6章 積分法 第1節 不定積分 第2節 定積分 第3節 積分法の応用 【期末考査】
第3学期		大学入学共通テスト形式の問題演習 【期末考査】
	1 2 5 3	



科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学演習	3	特進理系 コース	2	数学科

使用教科書等	出版社
攻略！共通テスト数学 I + A, II + B	東京書籍

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	大学入学共通テストに焦点を当てた授業を実施し、それに向けた学力を養成する。
---------	---------------------------------------

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期ごとに、中間考査・期末考査を実施し、その得点により評価を行う。	日常の授業態度や課題の出来具合、ノート提出により評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	2次関数 三角関数 指数関数・対数関数 【中間考査】
	5 6	図形と計量 方程式・式と証明 図形と方程式 微分と積分 【期末考査】
第2学期	7 0	集合と論証 データの分析 数学A全般、数学B全般 【中間考査】
	1 1	大学入学共通テスト形式の問題演習 【期末考査】
第3学期	1 1	大学入学共通テスト形式の問題演習 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
生物	3	普通 コース	4	理科

使用教科書等	出版社
改訂 高等学校 生物	第一学習社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	身近な自然界のさまざまな事象を生物学的に理解することによって、そこから自主的に問題を発見し、生物学的な探求の過程を通して科学的な思考力、判断力、および表現力を養う。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。(第3学期は期末考査のみ実施)	日頃の出席状況、学習に取り組む姿勢や意欲、ノートや副教材、課題等の提出物によって総合的に評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第1章 細胞と分子
	5	第1節 生体物質と細胞 第2節 細胞膜の働きとタンパク質 第3節 さまざまなタンパク質の働き 【中間考査】
	5	第2章 代謝
	6	第1節 代謝とエネルギー 第2節 炭酸同化 第3節 窒素同化 第4節 異化
	7	第3章 遺伝情報の発現 第1節 遺伝情報とその発現 【期末考査】 第2節 遺伝子の発現調節
第2学期	8	第3節 バイオテクノロジー
	9	第4章 生殖と発生
	10	第1節 有性生殖における遺伝的多様性 第2節 動物の配偶子形成 第3節 動物の発生 第4節 動物の発生における形態形成のしくみ 【中間考査】 第5節 植物の発生
	11	第5章 生物の環境応答
	12	第1節 植物の環境応答 第2節 動物の環境応答 第3節 動物の行動
第3学期	1	第6章 生物群集と生態系 第1節 個体群と生物群集 第2節 生態系の物質生産 第3節 生態系と生物多様性 【期末考査】
	1	第7章 第1節 進化のしくみ 第2節 生物の起源と生物の変遷
	1	第8章 第1節 生物の分類の変遷と系統 第2節 生物の系統関係 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
生物	3	進学文系 コース	2	理科

使用教科書等	出版社
改訂 高等学校 生物	第一学習社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	生物や生物現象への理解を深め、科学的に探求する能力や態度を育むとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方・考え方を養う。
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各期の考査にによって、それぞれの学習範囲の理解度・知識力・考察力の評価を行う。[三学期は期末考査のみ実施]	日常の授業への取り組みや授業態度、課題等の提出物によって評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5 5	第3章 遺伝情報の発現 2 遺伝情報の発現調節 3 バイオテクノロジー 第4章 生殖と発生 1 有性生殖における遺伝的多様性 【中間考査】 第4章 生殖と発生 2 動物の配偶子形成 3 動物の発生 4 動物の発生における形態形成のしくみ 5 植物の発生
	5 5 7	【期末考査】
第2学期	7 5 1 0	第5章 生物の環境応答 1 植物の環境応答 2 動物の環境応答 3 動物の行動 【中間考査】
	1 0 5 1 2	第6章 生物群集と生態系 1 個体群と生物群集 2 生態系の物質生産 3 生態系と生物多様性 【中間考査】
第3学期	1 2 5	第7章 生物の進化 1 進化のしくみ 2 生物の起源と生物の変遷 第8章 生物の系統 1 生物の分類の変遷と系統 2 生物の系統関係 【期末考査】
	2	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
理科演習	3	進学文系 コース	2	理科

使用教科書等	出版社
大学入学共通テスト対策 チェック&演習生物基礎・チェック&演習化学基礎	数研出版

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	自然界のさまざまな事象を科学的に理解することによって、そこから自主的に問題を発見し、探求の過程を通して科学的な思考力、判断力、および表現力を養うとともに、受験対応能力を身につける。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。(3学期は期末考査のみ実施)	日頃の学習に取り組む姿勢、出席状況、課題や提出物の状況によって総合的に評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	チェック&演習化学基礎 問題演習
	5	第1章 物質の構成
	5	第2章 物質の構成粒子
	5	第3章 粒子の結合
		【中間考査】
	5	チェック&演習化学基礎 問題演習
	7	第4章 物質と化学反応式
第2学期	8	第5章 酸と塩基
	8	第6章 酸化と還元
		【期末考査】
	8	チェック&演習生物基礎 問題演習
	9	第1章 生物の特徴
	10	第2章 遺伝子とその働き
	10	第3章 体内環境の恒常性
	【中間考査】	
10	チェック&演習生物基礎 問題演習	
11	第4章 体内環境の調節と免疫	
11	第5章 植生の多様性と分布	
12	第6章 生態系とその保全	
	【期末考査】	
第3学期	1	化学基礎・生物基礎ともに第7章、第8章 実践演習第1回・第2回
	2	問題演習 (化学基礎・生物基礎(総合的な問題))
		【期末考査】
	3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
化学	3	進学理系 コース	4	理科

使用教科書等	出版社
化学 新訂版	実教出版

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識を持って観察や実験を行い、化学的に探求する能力と態度を身につける。また、化学の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的な自然観を養う。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。[3学期は期末考査のみ実施]	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物の出来具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	1章 物質の状態と平衡
	5	1節 状態変化 1. 物質の構造と融点・沸点 2. 状態間の平衡 2節 気体の性質 1. ボイル・シャルルの法則 2. 気体の状態方程式 3節 固体の構造 1. 結晶の構造 2. アモルファス
		【中間考査】
	5	4節 溶液 1. 溶解 2. 溶解度 3. 希薄溶液の性質 4. コロイド溶液の性質
	7	2章 物質の変化と平衡 1節 化学反応と熱・光エネルギー 1. エネルギーの変換と保存 2. 化学反応と熱エネルギー 3. ヘスの法則 4. 化学反応と光エネルギー 2節 化学反応と電気エネルギー 1. 電池 2. 電気分解
	【期末考査】	
第2学期	7	3節 反応の速さとしくみ 1. 反応の速さ 2. 反応速度を変える条件 3. 反応の仕組み
	8	4節 化学平衡 1. 可逆反応と化学平衡 2. 化学平衡の移動 3. 化学平衡と化学工業 4. 電解質水溶液の平衡
	10	3章 無機物質 1節 周期表 1. 周期表と元素の分類 2節 非金属元素 1. 水素と重水素 2. ハロゲンとその化合物 3. 酸素・硫黄とその化合物【中間考査】 4. 窒素・リンとその化合物 5. 炭素・ケイ素とその化合物
	11	3節 金属元素 1. アルカリ金属とその化合物 2. アルカリ土類金属とその化合物 3. 1, 2族以外の典型元素とその化合物 4. 遷移元素とその化合物 5. 金属イオンの分離と確認 4節 無機物質と人間生活 1. 金属の利用 2. 無機物質の利用 3. 無機物質と生体
	11	4章 有機化合物 1節 有機化合物の特徴と分類 1. 有機化合物の特徴 2. 有機化合物の分類 3. 構造式の決定【期末考査】
第3学期	1	2節 脂肪族炭化水素 1. 飽和炭化水素 2. 不飽和炭化水素
	2	3節 酸素を含む脂肪族化合物 1. アルコールとエーテル 2. アルデヒドとケトン 3. カルボン酸とエステル
	3	4節 芳香族化合物 1. 芳香族炭化水素 2. 酸素を含む芳香族化合物 3. 窒素を含む芳香族化合物 4. 混合物の分離
		【期末考査】
	3	5節 有機化合物と人間生活 5章 高分子化合物 1節 高分子化合物 2節 天然高分子化合物 3節 合成高分子化合物 4節 高分子化合物と人間生活

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
生物	3	進理・特理 コース	3	理科

使用教科書等	出版社
高等学校 生物	第一学習社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	生物の生命現象又は事象等から主体的に問題を発見し、その解決に向けた探究の過程により科学的な思考力、判断力、および表現力を身につける。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。	授業における学習に向かう姿勢、出席及び課題・提出物等の状況により観点別の評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	第4章 生殖と発生 第5節 植物の発生 ④被子植物の体制と形態形成 ⑤花の形成と遺伝子による制御 探求活動5 花粉の発芽と花粉管の伸長
	5	第5章 生物の環境応答 第1節 植物の環境応答 ①植物の一生と環境応答 ②種子の発芽 ③光屈性と重力屈性 ④花芽形成 【中間考査】
第2学期	5 7	⑤果実の成長と成熟、落葉、落果 ⑥ストレスに対する応答 第2節 動物の環境応答 ①刺激の受容と反応 ②ヒトの様々な受容器 ③神経系と興奮の伝達 ④中枢神経系 ⑤効果器と反応 【期末考査】
	8 10	第3節 動物の行動 ①動物の行動 ②生得的行動 ③習得的行動と学習 探究活動6・7 第6章 生物群集系と生態系 第1節 個体群と生物群集・・・①生態系における個体と個体群 ②個体群の特徴 ③個体群内の相互作用 【中間考査】
第3学期	1 2	⑤多様な生物が共存するしくみ 第2節 生態系の物質生産 ①生態系の物質生産 ②生態系におけるエネルギーの移動 第3節 生態系と生物多様性 ①生物多様性の3つのとらえ方 ②生物多様性の損失とその要因 ③生物多様性保全とその意義 第7章 生物の進化 第1節 進化のしくみ・・・①進化 ②進化が起こるしくみ ③種分化 第2節 生物の起源と生物の変遷・・・①生命誕生 ②地球環境の変化と生物界の変遷 【期末考査】
	1 2	第8章 生物の系統 第1節 生物の分類と系統・・・①生物の分類と系統 第2節 生物の系統関係・・・①細菌ドメイン ②古細菌ドメイン ③真核生物ドメイン 探究活動9 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
物理	3	進学理系 特進理系 コース	3	理科

使用教科書等	出版社
物理 新訂版	実教出版

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	自然の事象について関心や探求心を持ち科学的態度を身につけ、基本的概念や原理・法則を理解すると共に、科学的に判断する力を育む。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。3学期は期末考査のみ実施する。	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物のでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	第I編 第1章 平面内の運動 1. 平面運動の速度・加速度、2. 落体の運動 第2章 剛体 1. 剛体にはたらく力のつりあい、2. 剛体にはたらく力の合力と重心 【中間考査】
	5 6	第3章 運動量の保存 1. 運動量と力積、2. 運動量保存則、3. 反発係数 第4章 円運動と万有引力 1. 等速円運動、2. 慣性力、3. 単振動、4. 万有引力 【期末考査】
第2学期	7 8	第II編 第1章 気体のエネルギーと状態変化 1. 気体の法則、2. 気体分子の運動、3. 気体の状態変化 第III編 第1章 波の伝わり方 1. 正弦波、2. 波の伝わり方 第2章 音の伝わり方 1. 音の伝わり方、2. 音のドップラー効果 第3章 光 1. 光の性質、2. レンズ、3. 光の干渉と回折 【中間考査】
	10 11 12	第IV編 第1章 電場 1. 静電気力、2. 電場、3. 電位、4. 物質、5. コンデンサー 第2章 電流 1. オームの法則、2. 直流電流、3. 半導体 第3章 電流と磁場 1. 磁場、2. 電流のつくる磁場、3. 電流が磁場から受ける力、4. ローレンツ力 【期末考査】
第3学期	1 2	第4章 電磁誘導と電磁波 1. 電磁誘導の法則、2. 交流の発生、3. 自己誘導と相互誘導、4. 交流回路 第V編 第1章 電子と光 1. 電子、2. 光の粒子性、3. X線、4. 粒子の波動性 第2章 原子と原子核 1. 原子の構造とエネルギー準位、2. 原子核、3. 放射線とその性質、 4. 核反応と核エネルギー、5. 素粒子 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
生物	3	特文 コース	2	理科

使用教科書等	出版社
高等学校 生物	第一学習社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	生物の生命現象又は事象等から主体的に問題を発見し、その解決に向けた探究の過程により科学的な思考力、判断力、および表現力を身につける。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。	授業における学習に向かう姿勢、出席及び課題・提出物等の状況により観点別の評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	第4章 生殖と発生 第5節 植物の発生 ④被子植物の体制と形態形成 ⑤花の形成と遺伝子による制御 探求活動5 花粉の発芽と花粉管の伸長
	5 5 7	第5章 生物の環境応答 第1節 植物の環境応答 ①植物の一生と環境応答 ②種子の発芽 ③光屈性と重力屈性 ④花芽形成 ⑤果実の成長と成熟、落葉、落果 ⑥ストレスに対する応答 第2節 動物の環境応答 ①刺激の受容と反応 ②ヒトの様々な受容器 ③神経系と興奮の伝達 ④中枢神経系 ⑤効果器と反応 【期末考査】
第2学期	7 10	第3節 動物の行動 ①動物の行動 ②生得的行動 ③習得的行動と学習 探究活動6・7 第6章 生物群集系と生態系 第1節 個体群と生物群集・・・①生態系における個体と個体群 ②個体群の特徴 ③個体群内の相互作用 【中間考査】
	10 11 11	⑤多様な生物が共存するしくみ 第2節 生態系の物質生産 ①生態系の物質生産 ②生態系におけるエネルギーの移動 第3節 生態系と生物多様性 ①生物多様性の3つのとらえ方 ②生物多様性の損失とその要因 ③生物多様性保全とその意義 第7章 生物の進化 第1節 進化のしくみ・・・①進化 ②進化が起こるしくみ ③種分化 第2節 生物の起源と生物の変遷・・・①生命誕生 ②地球環境の変化と生物界の変遷 【期末考査】
第3学期	1 2 3	第8章 生物の系統 第1節 生物の分類と系統・・・①生物の分類と系統 第2節 生物の系統関係・・・①細菌ドメイン ②古細菌ドメイン ③真核生物ドメイン 探求活動9 【期末考査】



科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
理科演習	3	特進文系 コース	2	理科

使用教科書等	出版社
改訂高等学校生物基礎、新訂版化学基礎 チェック&演習生物基礎、チェック&演習化学基礎	第一学習社、実教出版 数研出版

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	自然界のさまざまな事象を科学的に理解することによって、そこから自主的に問題を発見し、探求の過程を通して科学的な思考力、判断力、および表現力を養うとともに、受験対応能力を身につける。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。(3学期は期末考査のみ実施)	日頃の学習に取り組む姿勢、出席状況、課題や提出物の状況によって総合的に評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	化学基礎 チェック&演習 問題演習
	5	第1章 物質の構成
	5	第2章 物質の構成粒子
	5	第3章 粒子の結合
		【中間考査】
	5	チェック&演習化学基礎 問題演習
	7	第4章 物質と化学反応式
第2学期	7	第5章 酸と塩基
	7	第6章 酸化と還元
		【期末考査】
	7	チェック&演習生物基礎 問題演習
	10	第1章 生物の特徴
	10	第2章 遺伝子とその働き
	10	第3章 体内環境の恒常性
	【中間考査】	
11	第4章 体内環境の調節と免疫	
11	第5章 植生の多様性と分布	
11	第6章 生態系とその保全	
	【期末考査】	
第3学期	1	第7章、第8章 実践演習1、2
	2	問題演習 (化学基礎・生物基礎(総合的な問題))
	3	【期末考査】
	3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
化学	3	特進理系 コース	4	理科

使用教科書等	出版社
化学 新訂版	実教出版

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識を持って観察や実験を行い、化学的に探求する能力と態度を身につける。また、化学の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的な自然観を養う。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。[3学期は期末考査のみ実施]	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物の出来具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5 5	1章 物質の状態と平衡 1節 状態変化 1. 物質の構造と融点・沸点 2. 状態間の平衡 2節 気体の性質 1. ボイル・シャルルの法則 2. 気体の状態方程式 3節 固体の構造 1. 結晶の構造 2. アモルファス 4節 溶液 1. 溶解 2. 溶解度 3. 希薄溶液の性質 4. コロイド溶液の性質 【中間考査】
	5 5 7	2章 物質の変化と平衡 1節 化学反応と熱・光エネルギー 1. エネルギーの変換と保存 2. 化学反応と熱エネルギー 3. ヘスの法則 4. 化学反応と光エネルギー 2節 化学反応と電気エネルギー 1. 電池 2. 電気分解 【期末考査】
第2学期	7 5 1 0	3節 反応の速さとしくみ 1. 反応の速さ 2. 反応速度を変える条件 3. 反応の仕組み 4節 化学平衡 1. 可逆反応と化学平衡 2. 化学平衡の移動 3. 化学平衡と化学工業 4. 電解質水溶液の平衡 3章 無機物質 1節 周期表 1. 周期表と元素の分類 2節 非金属元素 1. 水素と水素ガス 2. ハロゲンとその化合物 3. 酸素・硫黄とその化合物 4. 窒素・リンとその化合物 5. 炭素・ケイ素とその化合物 【中間考査】
	1 0 5 1 1	3節 金属元素 1. アルカリ金属とその化合物 2. アルカリ土類金属とその化合物 3. 1, 2族以外の典型元素とその化合物 4. 遷移元素とその化合物 5. 金属イオンの分離と確認 4節 無機物質と人間生活 1. 金属の利用 2. 無機物質の利用 3. 無機物質と生体 4章 有機化合物 1節 有機化合物の特徴と分類 1. 有機化合物の特徴 2. 有機化合物の分類 3. 構造式の決定【期末考査】
第3学期	1 2 5 3	2節 脂肪族炭化水素 1. 飽和炭化水素 2. 不飽和炭化水素 3節 酸素を含む脂肪族化合物 1. アルコールとエーテル 2. アルデヒドとケトン 3. カルボン酸とエステル 4節 芳香族化合物 1. 芳香族炭化水素 2. 酸素を含む芳香族化合物 3. 窒素を含む芳香族化合物 4. 混合物の分離 【期末考査】
		5節 有機化合物と人間生活 5章 高分子化合物 1節 高分子化合物 2節 天然高分子化合物 3節 合成高分子化合物 4節 高分子化合物と人間生活

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
体育	3学年(男)	普通コース	3	保健体育科

使用教科書等	出版社
Active Sports 2021 [総合版]	大修館書店

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。 公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

項目	運動技能	知識・理解	関心・意欲・態度
趣旨・基準	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高める。 体力向上のために運動の合理的な行い方を身につける。	運動の意義や必要性を理解する。 運動の特性と合理的な行い方を理解し、その知識を身につける。 3学期は期末考査を実施。	計画的に、自ら進んで行うことで運動の楽しさや喜びを味わう。 健康・安全に関心を持ち、意欲的に取り組もうとする態度を養う。
評価割合	約50%	約30%	約20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	◇オリエンテーション ◇スポーツテスト①・集団行動
	6	◇バレーボールゲーム ●実技試験
第2学期	7	◇体づくり運動 ◇スポーツテスト② ◇陸上競技 ハードル走 砲丸投げ ●実技試験
	1 1	◇バスケットボール ドリブルシュート オフフェンス練習・ディフェンス練習 ゲーム ●実技試験
第3学期	1	◇体育理論 ◆期末考査

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
体育	3学年(女)	普通コース	3	保健体育

使用教科書等	出版社
Active SPports 2020[総合版]	大修館書店

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

項目	運動技能	知識・理解	関心・意欲・態度
趣旨・基準	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高める。体力向上のために運動の合理的な行い方を身に付ける。	運動の意義や必要性を理解する。運動の特性と合理的な行い方を理解し、その知識を身に付ける。3学期は中間考査を実施。	計画的に、自ら進んで行うことで、運動の楽しさや喜びを味わう。健康・安全に関心をもち意欲的に取り組もうとする態度を養う。
評価割合	約50%	約30%	約20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期		◇オリエンテーション ◇スポーツテスト①・集団行動 ◇体づくり運動 ◆実技試験(高校生体操)  ◇サッカー ①ドリブル ②ボール上げ ③パス&コントロール ④対人 ◆実技試験(記録…各種目)
第2学期		◇スポーツテスト②(体力診断テスト) ◇体づくり運動 ◇バスケットボール ①パス ②ドリブル ③シュート ④ゲーム(チーム編成) ⑤実技理論(ルール) ◆実技試験  ◇バレーボール ①レシーブ ②パス ③サーブ ④ゲーム(チーム編成) ⑤実技理論(ルール) ◆実技試験
第3学期		◇体育理論(3単元 豊かなスポーツライフの設計) ◇実技理論(陸上競技・バスケットボール・バレーボール) ◆期末考査(40点)

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
体 育	3	進学・特進(男)コース	2	保健体育科

使 用 教 科 書 等	出 版 社
Active Sports 2020 [総合版]	大修館出版

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子をを整え体力の向上を図る。 公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

項目	運動技能	知識・理解	関心・意欲・態度
趣旨・基準	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高める。 体力向上のために運動の合理的な行い方を身に付ける。	運動の意義や必要性を理解する。 運動の特性と合理的な行い方を理解し、その知識を身に付ける。 3学期は期末考査を実施	計画的に、自ら進んで行うことで、運動の楽しさや喜びを味わう。 健康・安全に関心を持ち意欲的に取り組もうとする態度を養う。
評価割合	約50%	約30%	約20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	◇オリエンテーション ◇スポーツテスト①(運動能力テスト) ◇体づくり運動 ◆実技試験(高校生体操) ◇サッカー ・シュート・クロス
	5	・ゲーム形式 ◆実技試験
第2学期	7	◇スポーツテスト②(体力診断テスト) ◇バレーボール 実技理論(ルール) ◆実技試験(パス・レシーブ・スパイク) ・ゲーム形式
	10	◇バスケットボール 実技理論(ルール) ◆実技試験(パス・ドリブル・シュート) ・ゲーム形式
第3学期	12	◇実技理論(サッカー・バレーボール・バスケットボール) ◇体育理論(3単元 豊かなスポーツライフの設計) ◆期末考査(40点)
	2	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
体育	3女	進学特進 コース	2	保健体育科

使用教科書等	出版社
Active SPports 2022 [総合版]	大修館書店

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

項目	運動技能	知識・理解	関心・意欲・態度
趣旨・基準	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高める。 体力向上のために運動の合理的な行い方を身に付ける。	運動の意義や必要性を理解する。 運動の特性と合理的な行い方を理解し、その知識を身に付ける。 3学期は期末考査を実施する。	計画的に、自ら進んで行うことで、運動の楽しさや喜びを味わう。 健康・安全に関心を持ち意欲的に取り組もうとする態度を養う。
評価割合	約50%	約30%	約20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	◇オリエンテーション ◇スポーツテスト②・集団行動
	6	◇陸上競技 ハードル走 砲丸投げ ●実技試験
第2学期	7	◇体づくり運動 ◇スポーツテスト① ◇サッカー パス・シュート・ゲーム ●実技試験
	10	◇バスケットボール パス・シュート 対人 ゲーム ●実技試験
第3学期	1	◇体育理論
	2	◆期末考査
	3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
コミュニケーション英語Ⅱ	3	普通 コース	3	英語科

使用教科書等	出版社
VISTA English Communication II New Edition	三省堂

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	①音読やリスニングを通して、英文を聞く読む力を養う。 ②表現能力(読む・書く)を養う。 ③日本や英語圏の文化・歴史に興味・感心を持つことができる。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。試験問題は、授業で学習した内容を中心に出題する。	日常の学習態度、課題や提出物により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4月 5月	Lesson 6 Becoming the Best
	5月 7月	Lesson 7 The Galapagos Islands
第2学期	7月 9月	Lesson 8 Shodo, Old and New
	10月 12月	Lesson 9 Water World
第3学期	1月	Lesson 10 A long Friendship
	3月	

科目名	対象			単位数	担当教科
	学年	コース			
英語表現Ⅱ	3	普通	コース	2	英語

使用教科書等	出版社
Vivid English Expression II New Edition	第一学習社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度を養う。 ②情報や考えを的確に理解する。 ③自分の意見や考えを適切に表現する。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に 出題する。	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物、小テストのでき具合により評価を行う。
割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	Lesson12 What Has Made You So Excited? Lesson13 Run, Melos!
	5	Lesson14 How Was Your Vacation?
	6	Lesson15 Thinking More about the Earth Lesson16 History is Interesting Lesson17 Making the World a Better Place.
第2学期	7	Lesson18 Family Camping
	8	Lesson19 Hospital Rooms
	9	Lesson20 My Future Career Lesson21 Our Network Society
	10	Lesson22 It's hard to choose
	11	Lesson23 We Were So Lucky! Lesson24 I'm Sorry to Hear That. Lesson25 They Like Hot Springs.
第3学期	12	Lesson26 Sports Tournament Lesson27 Will You Help Me? Lesson28 Getting Ready for the New Year
	1	
	2	



科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
コミュニケーション英語Ⅲ	3	進学文理 コース	5	英語

使用教科書等	出版社
Grove English Communication III	文英堂

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度を養う。 ②情報や考えを的確に理解する。 ③自分の意見や考えを適切に表現する。
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物、小テストのでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	UNIT 1 Lesson 1 Plastic Food Samples Lesson 2 Cheese Rolling Lesson 3 Chocolate Shortage
	5	Lesson 4 Bamboo Trains
	6	Lesson 5 The Animal Lounge Lesson 6 Brinicles Lesson 7 The Hemline Index
	7	Lesson 8 Holiday Weight Gain
	8	Lesson 9 Socotra - The Galapagoes of
	9	Lesson 10 NEWater Lesson 11 Bed Nets for African Children
	10	Lesson 12 A Fethery Found in Amber UNIT 2
第2学期	11	Lesson 13 Snow Monkeyes Lesson 14 Spot Fake News Lesson 15 EcoScraps: A Million-dollar Business
	12	Lesson 16 Earth Hour Lesson 17 The French School Lunch Lesson 18 Sleep Position and Personality Lesson 19 Lost Olympic Sports
	1	
	2	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
英語表現Ⅱ	3	進学文 コース	3	英語

使用教科書等	出版社
Vision Quest English Expression II Ace	啓林館

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	①英文を正確に音読し、聞き取る。 ②英文法を理解し、正確に作文する。
---------	---------------------------------------

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出题する。	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物の提出状況を総合して得点とする。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 ~ 5	Lesson 11 Lesson 12
	5 ~ 7	Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15
第2学期	7 ~ 10	Lesson 16 Lesson 17 Lesson 18
	10 ~ 12	Lesson 19 Lesson 20 Part 2 Lesson 1,2
第3学期	1 2 ~ 2	Part 2 Lesson 3,4

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
英語表現Ⅱ	3	進学理 コース	2	英語

使用教科書等	出版社
Vision Quest English Expression II Ace	啓林館

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	①英文を正確に音読し、聞き取る。 ②英文法を理解し、正確に作文する。
---------	---------------------------------------

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出题する。	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物の提出状況を総合して得点とする。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 ~ 5	Lesson 11 Lesson 12
	5 ~ 7	Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15
第2学期	7 ~ 10	Lesson 16 Lesson 17 Lesson 18
	10 ~ 12	Lesson 19 Lesson 20 Part 2 Lesson 1,2
第3学期	1 2 ~ 2	Part 2 Lesson3,4

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
コミュニケーション英語Ⅲ	3	特文理 コース	5	英語

使用教科書等	出版社
LANDMARK English Communication III	啓林館

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の語彙や文法等の理解を深め、英文における概要や要点を理解する。</li> <li>・大学入学共通テストおよび各大学の課す独自試験に対応できる思考力を養う。</li> <li>・外国語の背景文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的に対話を図る態度を養う。</li> </ul>
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<p>授業で学習する基本的な内容の理解度を確認する。</p> <p>各学期毎に中間考査・期末考査を実施し、その得点評価を行う。なお、試験問題は授業で学習した内容を中心に出题する。</p>	<p>ペアワーク等の授業に取り組む姿勢に加えて、家庭学習へ取り組む姿勢により評価を行う。</p>
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	Lesson 1 Caffeine: The World's Favorite Drug
	5	Lesson 3 Australia and its Creatures 【中間考査】
	5	Lesson 5 Bilingual Effect in the Brain
	6	Lesson 6 Communication without Words 【期末考査】
	7	
第2学期	7	Lesson 8 Animal Math
	8	Lesson 10 Extinction of Languages 【中間考査】
	10	
	11	Lesson 11 Learning a First Culture
	12	Lesson 12 Light Pollution 【期末考査】
第3学期	1	入試対策:問題演習
	2	【期末考査】
	3	
	3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
英語表現Ⅱ	3	特文 コース	3	英語

使用教科書等	出版社
DUAL SCOPE 総合英語／Scramble 英文法・語法	数研出版／旺文社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</li> <li>事実や意見などを多様な観点から考察し、展開や表現を工夫しながら伝える能力を伸ばす。</li> <li>大学入学共通テストおよび各大学の課す独自試験に対応できる思考力を養う。</li> </ul>
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	授業で学習する基本的な内容の理解度を確認する。各学期毎に中間考査・期末考査を実施し、その得点評価を行う。なお、試験問題は授業で学習した内容を中心に出题する。	日々の学習態度に加えて、課題、小テストにより評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	文型／時制／助動詞／受動態／不定詞 【中間考査】
	5 6 7	動名詞／分詞／関係詞／仮定法 【期末考査】
第2学期	7 8 9 10	比較／否定／語法／その他構文 【中間考査】
	10 11 12	入試対策：問題演習 【期末考査】
第3学期	1 2 3	入試対策：問題演習 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
英語表現Ⅱ	3	特理 コース	2	英語

使用教科書等	出版社
Dual Scope English ExpressionⅡ	数研出版

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	①自分の考えを、論理の展開及び表現方法を工夫して、英語で表現する。 ②大学共通テスト及び大学入試2次試験に対応できる力を身につける。
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に 出題する。	日常の学習態度、課題や小テストにより評価 を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	Unit22 Using Words to Connect Ideas Unit23 Listing / Time Order
	5 6 7	Unit24 Additional Information / Restaurant Unit25 Comparison / Contrast Unit26 Examples
第2学期	7 8 9 10	Unit28 Introducing Things and Events Unit29 Proposing Ideas
	10 11 12	大学共通テスト対策(演習)
第3学期	1 2 3	大学共通テスト対策(演習)
	1 2	